

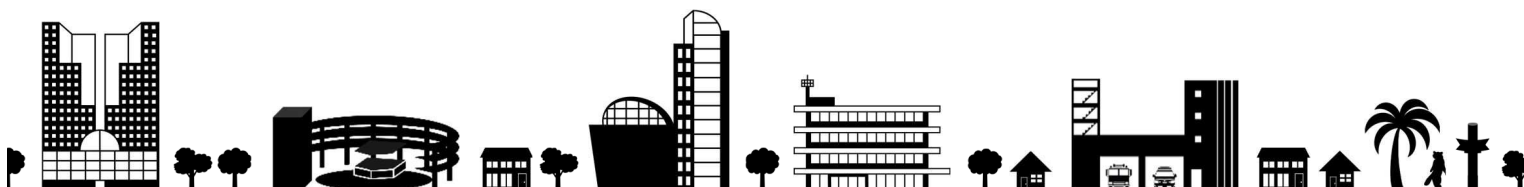
SAIWA FIRE STATION



令和7年

署勢概要

(令和8年刊行)



幸

消

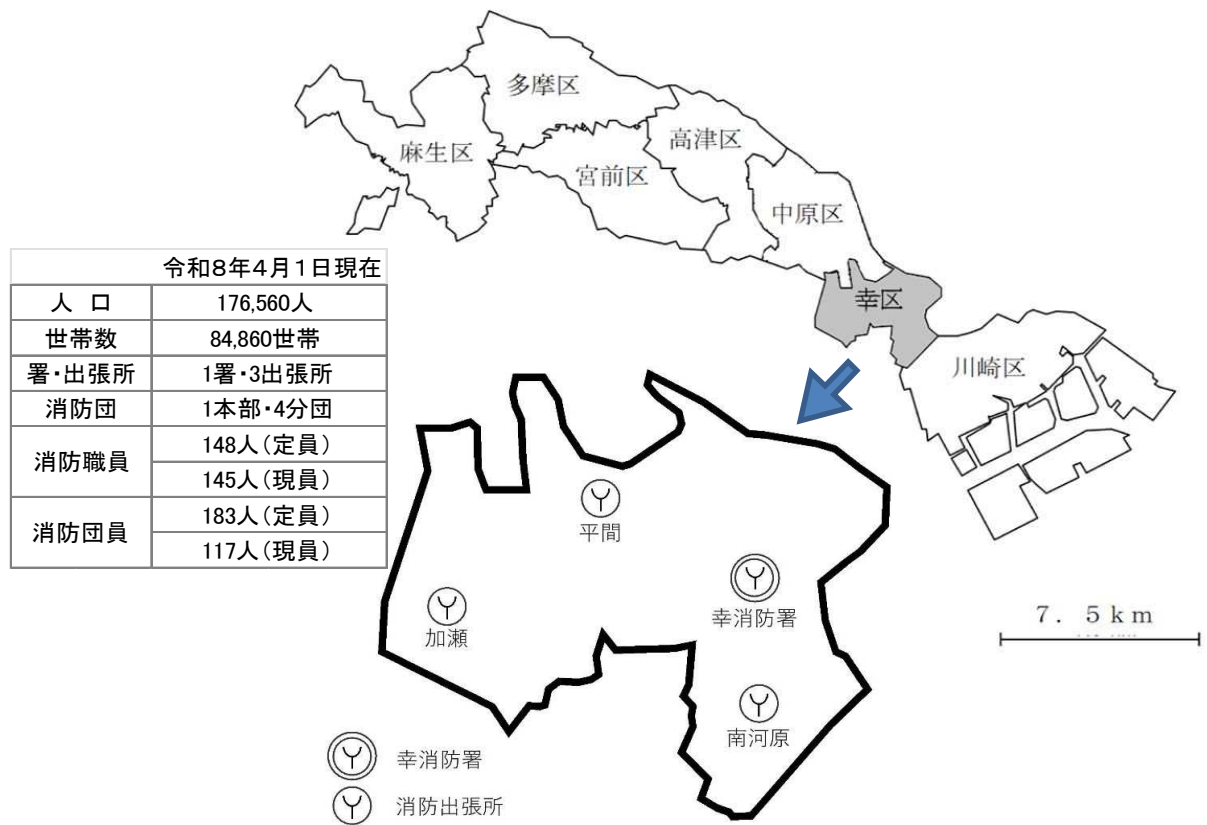
防

署

目 次

	ページ
総 括	
管轄区域及び消防署・出張所配置図	1
消防署の組織及び事務分掌	2
消防職員	3
警 防	
災害出場状況	4
消防車等配置状況	5
予 防	
火災予防条例等に基づく届出状況	6
防火対象物の立入検査状況	7
消防同意処理状況	8
少量危険物施設状況、危険物施設状況	9
危険物施設等の立入検査状況	10
火災統計	
火災発生状況、月別火災発生状況	11
5年間の火災発生状況、5年間の原因別火災発生状況	12
5年間の地区・町丁名別火災発生状況	13
救 急	
救急概況、救急隊別救急取扱状況	15
月別救急取扱状況・10年間の救急活動の推移	16
消 防 団	
消防団の組織、消防団の受持区分	17
消防団員、消防団の出場状況	18
消防団車両積載小型動力ポンプ、消防団配置対震ポンプ	19
消防協力団体	
消防協力団体の状況、自衛消防隊状況	20
附 表	
過去の主な災害	21
幸消防署のあゆみ	26

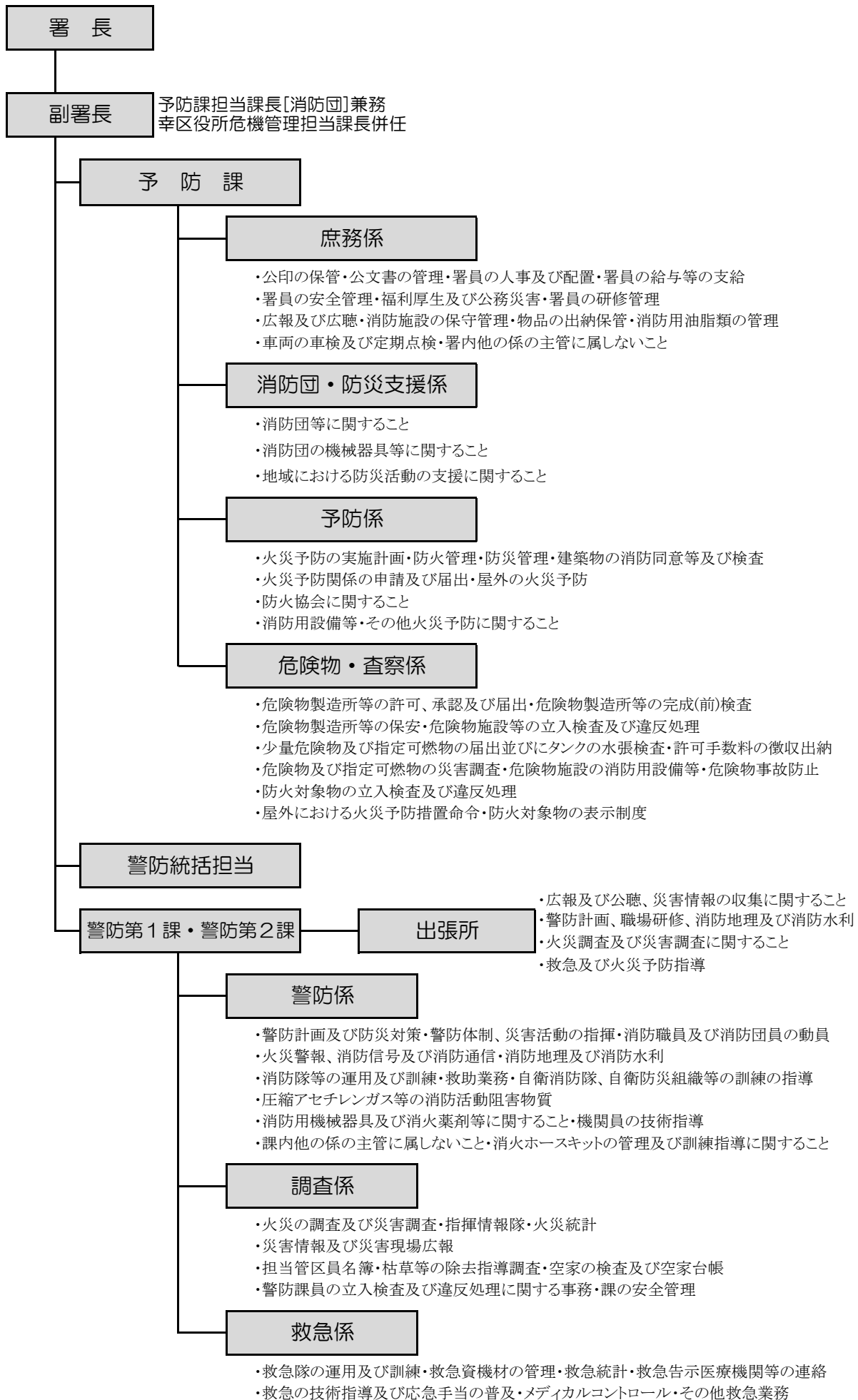
管轄区域及び消防署・出張所配置図



管内受持区域

署 所 別	所在地	受 持 区 域
本 署	戸手2-12-1	幸区のうち塚越、塚越1～4丁目、古川町、戸手、戸手1～4丁目、小向町、小向、小向仲野町、小向東芝町、小向西町1～4丁目、河原町、遠藤町、戸手本町1・2丁目、紺屋町、東古市場
南 河 原 出 張 所	南幸町2-38	幸区のうち堀川町、大宮町、柳町、幸町1～4丁目、中幸町1～4丁目、南幸町1～3丁目、都町、神明町1・2丁目
平 間 出 張 所	下平間4	幸区のうち新塚越、下平間、古市場、小倉、東小倉、古市場1・2丁目、鹿島田1～3丁目、新小倉、新川崎
加 瀬 出 張 所	南加瀬4-18-5	幸区のうち北加瀬1～3丁目、南加瀬1～5丁目、小倉1～5丁目、矢上

消防署の組織及び事務分掌



消 防 職 員

(令和8年4月1日現在)

区 分 署 所 別			計	消 防 監	消 防 司 令 長	消 防 司 令	消 防 司 令 補	消 防 士 長	消 防 副 士 長	消 防 士
合 計			145	1	5	17	35	47	0	40
本 署	予 防 課	庶務係	6	1	1	1	—	2	—	1
		消防団・防災支援係	2	—	—	1	—	1	—	—
		予防係	5	—	1	1	2	1	—	—
		危険物・査察係	4	—	—	1	1	2	—	—
	警防第1課		31	—	2	3	10	8	—	8
	警防第2課		29	—	1	4	9	7	—	8
南河原出張所		1課	11	—	—	1	2	4	—	4
		2課	11	—	—	1	2	5	—	3
平間出張所		1課	11	—	—	1	2	4	—	4
		2課	11	—	—	1	2	3	—	5
加瀬出張所		1課	12	—	—	1	2	6	—	3
		2課	12	—	—	1	3	4	—	4

※ 署長及び副署長は本署予防課庶務係に、予防課長は予防課予防係に、警防統括担当課長は本署警防第1課の欄に計上しています。

災害出場状況

(令和7年中)

区分 出場別	計	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
合 計	711	82	50	60	50	31	63	75	57	73	50	53	67
火 災 出 場	26	4	1	2	4	1	2	2	1	2	1	3	3
管外応援出場	5	0	0	0	2	0	1	1	1	0	0	0	0
そ の 他 出 場	545	66	37	44	35	26	52	53	44	61	37	39	51
救 助 出 場	135	12	12	14	9	4	8	19	11	10	12	11	13
誤 報	23	2	0	0	2	2	0	2	1	3	5	3	3
虚 報	3	0	0	0	1	2	0	0	0	0	0	0	0

※ 管外応援出場、その他出場以外は、幸区内で発生した件数です。

※ 誤報、虚報にあつては合計の外数です。

消 防 車 等 配 置 状 況

(令和8年4月1日現在)

配置先 (21台)	隊 名	登録番号	種 別	能 力	乗車 定員	長 さ (m)	幅 (m)	高さ (m)	総重量 (kg)	登録 年月
本 署 (14台)	幸1	川崎800 す1841	普通ポンプ車	A-2(2,000ℓ以上)	5	5.70	1.90	2.76	5,625	H27.2
	幸2	川崎800 は986	タンク車	4t A-2(2,000ℓ以上)	6	7.80	2.49	2.96	15,170	H25.2
	幸救助	川崎800 は1354	救助工作車	Ⅱ型	6	7.76	2.34	3.15	11,790	R1.8
	幸水難救助	川崎800 す1059	資機材搬送車		3	7.00	2.24	3.22	7,595	H25.2
	幸はしご	川崎800 は1432	はしご車	40m級(先端屈折)	6	11.10	2.49	3.45	19,800	R3.3
	幸積載	川崎800 す4479	ポンプ積載車		6	4.87	1.69	2.77	3,300	R2.3
	幸電源	川崎800 は1333	電源車	主照明灯 LED3000W×2	2	7.58	2.40	3.30	10,950	H31.3
	幸指揮	川崎800 す4221	指揮車		5	5.40	1.88	2.45	2,745	R1.9
	幸救急	川崎800 す5744	救急車	高規格	7	5.66	1.89	2.49	3,255	R4.10
	非常用消防	川崎800 す293	普通ポンプ車	A-2(2,000ℓ以上)	5	5.79	1.88	2.67	5,355	H23.3
	非常用救急	川崎800 す3848	救急車	高規格	7	5.33	1.88	2.49	3,215	H31.1
	広報車1	川崎301 と4988	広報車		7	4.80	1.75	1.84	2,195	R5.2
	広報車2	川崎501 ぬ8310	広報車		8	4.69	1.69	1.87	2,250	R7.1
	査察	川崎580 ち7669	査察車Ⅱ		4	3.39	1.47	1.78	1,070	R5.2
南 河 原 (2台)	南河原	川崎800 す2459	普通ポンプ車	A-2(2,000ℓ以上)	5	5.70	1.88	2.68	5,735	H28.2
	南河原救急	川崎800 す6767	救急車	高規格	7	5.33	1.88	2.49	3,215	R7.2
平 間 (3台)	平間	川崎800 す6763	普通ポンプ車	0.8t A-2(2,000ℓ以上)	5	5.73	1.92	2.85	6,925	R7.2
	平間化学	川崎800 は1139	化学車	原液1,200ℓ A-1(2,800ℓ以上)	6	8.36	2.49	3.20	15,700	H27.3
	平間救急	川崎800 す6391	救急車	高規格	7	5.66	1.89	2.49	3,225	R6.2
加 瀬 (2台)	加瀬	川崎800 す7231	普通ポンプ車	A-2(2,000ℓ以上)	5	5.70	1.92	2.85	6,745	R7.12
	加瀬救急	川崎800 す6275	救急車	高規格	7	5.66	1.89	2.49	3,225	R5.11

火災予防条例等に基づく届出状況

(令和7年度)

区 分	件 数	区 分	件 数
防火対象物使用開始届	205	蓄電池設備設置届	9
防火対象物改装工事等届	3	急速充電設備設置届	-
炉設置届	8	ネオン管灯設備設置届	-
温風暖房機設置届	-	水素ガスを充てんする気球の設置届	-
厨房設備設置届	2	火災と紛らわしい煙又は火炎を発する おそれのある行為届	28
ボイラー設置届	3	煙火の打上げ又は仕掛け届	-
乾燥設備設置届	2	催物開催届	-
給湯湯沸設備届	1	露店等開催届	59
ヒートポンプ冷暖房機設置届	1	圧縮アセチレンガス等貯蔵取扱届	6
火花を生ずる設備設置届	-	指定洞道等の届	-
放電加工機設置届	-	指定可燃物貯蔵取扱届	-
サウナ設備設置届	-	少量危険物貯蔵取扱届	12
燃料電池発電設備設置届	-	道路工事届	670
変電設備設置届	30	水道断減水届	91
発電設備設置届	7		

防火対象物の立入検査状況

(令和7年度)

区 分		第1種		第2種		第3種						第4種		合 計	
						ア		イ		小 計					
		対象物数	検査数	対象物数	検査数	対象物数	検査数	対象物数	検査数	対象物数	検査数	対象物数	検査数	対象物数	検査数
合 計		447	78	527	91	789	57	2,758	14	3,547	72	792	2	5,313	243
1ーイ	劇 場 ・ 映 画 館 等	1	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	1	－
1ーロ	公会堂・集会場等	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－
2ーイ	キ ャ バ レ ー 等	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－
2ーロ	遊 技 場 等	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－
2ーハ	風 俗 営 業 店 等	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－
2ーニ	カラオケボックス等	3	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	3	－
3ーイ	待 合 ・ 料 理 店 等	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－
3ーロ	飲 食 店 等	23	4	－	－	1	－	10	1	11	1	13	－	47	5
4	百 貨 店 等	50	4	－	－	1	1	19	1	20	2	5	－	75	6
5ーイ	旅 館 ・ ホ テ ル 等	3	2	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	3	2
5ーロ	共同住宅・寄宿舍等	－	－	376	39	601	2	1,607	2	2,208	4	525	－	3,109	43
6ーイ	病 院 ・ 診 療 所 等	8	1	－	－	2	－	8	－	10	1	1	－	19	2
6ーロ	老人短期入所施設等	23	3	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	23	3
6ーハ	老人デイサービスセンター等	54	13	－	－	8	6	2	1	10	7	2	1	66	21
6ーニ	幼稚園・盲学校等	10	1	－	－	－	－	－	－	－	－	1	－	11	1
7	学 校 等	－	－	15	14	－	－	1	－	1	－	1	－	17	14
8	図 書 館 ・ 博 物 館 等	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－
9ーイ	蒸 気 ・ 熱 気 浴 場 等	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－
9ーロ	公 衆 浴 場	－	－	－	－	－	－	1	－	1	－	－	－	1	－
10	車 両 の 停 車 場 等	－	－	－	－	2	－	－	－	2	－	1	－	3	－
11	神 社 ・ 寺 院 等	－	－	15	3	－	－	8	－	8	－	6	－	29	3
12ーイ	工 場 ・ 作 業 所 等	－	－	6	3	14	2	89	1	103	3	13	－	122	6
12ーロ	映 画 ス タ ジ オ	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－
13ーイ	自 動 車 車 庫 等	－	－	－	－	3	1	6	－	9	1	4	－	13	1
13ーロ	飛行機の格納庫	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－
14	倉 庫	－	－	1	1	17	11	45	1	62	12	10	－	73	13
15	そ の 他 の 事 業 所	－	－	60	12	19	6	85	－	104	6	72	1	236	19
16ーイ	複 合 用 途 (特 定)	272	50	－	－	75	12	264	6	339	18	62	－	673	68
16ーロ	複 合 用 途 (非 特 定)	－	－	54	19	45	16	613	1	658	17	75	－	787	36
17	重 要 文 化 財	－	－	－	－	1	－	－	－	1	－	1	－	2	－

第1種 消防法(以下「法」という。)第8条第1項の規定により、防火管理者を定めなければならない防火対象物で、法第17条の2の5第2項第4号に規定する特定防火対象物及びこれらに属する物件(危険物製造所等は除く。)

第2種 法第8条第1項の規定により、防火管理者を定めなければならない防火対象物(特定防火対象物を除く。)及びこれらに属する物件(危険物製造所等は除く。)

第3種 法第17条第1項又は川崎市火災予防条例(昭和48年川崎市条例第36号。以下「条例」という。)第46条第1項の規定により自動火災報知設備を設置しなければならないもの(第1種、第2種防火対象物を除く。)及びこれらに属する物件(危険物製造所等は除く。)

第4種 第1種、第2種及び第3種ア・イ防火対象物以外の防火対象物及びこれらに属する物件(危険物施設は除く。)

消防同意処理状況（令和7年度）

用途別処理状況

用 途 別		確認申請件数
1	イ 劇 場 ・ 映 画 館 等	-
	ロ 公 会 堂 ・ 集 会 場	-
2	イ キャバレー・ナイトクラブ等	-
	ロ ロ遊技場・ダンスホール	-
	ハ 性 風 俗 営 業 店 舗 等	-
	ニ カラオケボックス・インターネット 一 カ フ ェ 等	-
3	イ 待 合 ・ 料 理 店 等	-
	ロ 飲 食 店	1
4	百貨店・マーケット等	2
5	イ 旅 館 ・ ホ テ ル 等	-
	ロ 寄 宿 舎 ・ 共 同 住 宅 等	62
6	イ 病 院 ・ 診 療 所 等	-
	ロ 老 人 短 期 入 所 施 設 等	-
	ハ 老 人 デイサービスセンター等	-
	ニ 幼 稚 園 ・ 特 別 支 援 学 校 等	-
7	小 ・ 中 ・ 高 ・ 大 学 校 等	-
8	図 書 館 等	-
9	イ 蒸 気 浴 場 ・ 熱 気 浴 場	-
	ロ 公 衆 浴 場	-
10	停 車 場 等	-
11	神 社 ・ 寺 院 等	-
12	イ 工 場 ・ 作 業 所	3
	ロ 映 画 ・ テレビスタジオ	-
13	イ 自 動 車 車 庫 ・ 駐 車 場	1
	ロ 飛 行 機 等 の 格 納 庫	-
14	倉 庫	2
15	前各号に該当しない事業所	11
16	イ 複 合 用 途 （ 特 定 ）	4
	ロ 複 合 用 途 （ 非 特 定 ）	3
専 用 住 宅		347
合 計		436

工事別処理状況

区 分	件 数
新 築	433
増 築	2
改 築	-
増 改 築	-
移 転	-
修 繕	-
模 様 替	-
用 途 変 更	1
工 作 物 等	-
合 計	436

構造別処理状況

区分	件数
耐 火 建 築 物	53
準耐火建築物	324
不 燃 建 築 物	4
防 火 建 築 物	55
木 造 建 築 物	-
工 作 物 等	-
合 計	436

少量危険物施設状況

(令和8年4月1日現在)

区 分	合 計	一般 取扱	屋内 貯蔵	屋外 貯蔵	屋 内 タンク	屋 外 タンク	地 下 タンク	移 動 タンク	その他
本 署	107	13	45	8	5	13	2	2	19
南河原	71	11	32	2	14	9	1	2	—
平 間	52	9	22	1	7	10	2	1	—
加 瀬	129	15	66	5	11	24	4	3	1
合 計	359	48	165	16	37	56	9	8	20

危険物施設状況

(令和8年4月1日現在)

区 分	合 計	本 署	南河原	平 間	加 瀬
施 設 合 計 (A+B+C)	125				
製 造 所 (A)	—	—	—	—	—
取 扱 所 小 計 (B)	45				
一 般 取 扱 所	30	3	12	12	3
自 家 用 給 油 取 扱 所	2	1	1	—	—
鉄 道 用 給 油 取 扱 所	2	—	—	2	—
営 業 用 給 油 取 扱 所	11	3	2	1	5
貯 蔵 所 小 計 (C)	80				
屋 内 貯 蔵 所	24	9	4	5	6
屋 外 貯 蔵 所	1	—	—	—	1
屋 内 タ ン ク 貯 蔵 所	5	1	2	2	—
屋 外 タ ン ク 貯 蔵 所	—	—	—	—	—
地 下 タ ン ク 貯 蔵 所	34	5	15	7	7
簡 易 タ ン ク 貯 蔵 所	—	—	—	—	—
移 動 タ ン ク 貯 蔵 所	16	—	—	—	16
事 業 所 合 計	65	15	16	13	21
予 防 規 程 の 作 成 を 要 す る 事 業 所	19	4	5	4	6
そ の 他 の 事 業 所	46	11	11	9	15

危険物施設等の立入検査状況

(令和7年度)

区 分	施 設 数	延べ立入検査 実 施 件 数
製 造 所	—	—
一 般 取 扱 所	30	21
自家用給油取扱所	2	1
鉄道用給油取扱所	2	2
営業用給油取扱所	11	11
屋 内 貯 蔵 所	24	14
屋 外 貯 蔵 所	1	—
屋内タンク貯蔵所	5	2
屋外タンク貯蔵所	—	—
地下タンク貯蔵所	34	20
簡易タンク貯蔵所	—	—
移動タンク貯蔵所	16	13
少量危険物貯蔵取扱所	359	38

火災発生状況

(令和7年中)

区分 区域別	火災件数	出火率 (件)	焼損面積 (㎡)	損害額 (千円)	り 災		死者	負傷者
					世帯	人員		
全 市	470	3.05	3,165	1,241,633	273	522	12	59
幸 署	47	2.67	44	1,635	13	22	0	2
比 率	10.0%	—	1.4%	0.1%	4.8%	4.2%	0.0%	3.4%

※ 比率は、全市の火災発生件数等に対する当署管内の割合(%)を示しています。

※ 出火率は、人口1万人当たりの火災件数を表しています。(令和7年12月末日現在 全市1,542,534人、幸区176,277人)

月別火災発生状況

(令和7年中)

区分 月別	件数	種 別			損害額 (千円)	焼損面積(㎡)		り 災		死者	負傷者
		建物	車両	その他		床面積	表面積	世帯	人員		
合計	47	29	0	18	1,635	37	7	13	22	0	2
1月	8	4	—	4	672	4	2	2	2	—	—
2月	2	2	—	—	29	—	—	1	2	—	—
3月	4	2	—	2	57	—	—	—	—	—	1
4月	2	2	—	—	56	—	—	1	1	—	—
5月	1	1	—	—	1	—	—	—	—	—	—
6月	7	4	—	3	45	—	—	1	1	—	—
7月	4	2	—	2	4	—	—	1	1	—	—
8月	4	1	—	3	14	—	—	1	2	—	—
9月	4	3	—	1	33	—	—	—	—	—	—
10月	3	3	—	—	594	33	5	2	4	—	1
11月	5	4	—	1	2	—	—	3	3	—	—
12月	3	1	—	2	128	—	—	1	6	—	—

※ 各表中の数値は小数点以下第2位を四捨五入しているため、総数と内訳が一致しない場合があります。

5年間の火災発生状況

区分 年	火災件数	焼損面積(m ²)		損害額 (千円)	死 者	負傷者
		床面積	表面積			
令和 3年	37	98	23	7,275	2	1
4年	36	146	15	2,958	1	0
5年	32	101	77	11,160	0	5
6年	69	570	208	65,395	3	17
7年	47	37	7	1,635	0	2

5年間の原因別火災発生状況

※小数第二位を四捨五入

区分 年	火災件数	1位	2位	3位	4位	その他
令和 3年	37	放 火 6 (16.2%)	配線器具 6 (16.2%)	たばこ 5 (13.5%)	こんろ 3 (8.1%)	その他 17 (46.0%)
4年	36	配線器具 7 (19.4%)	こんろ 7 (19.4%)	電話・電灯等の配線 7 (19.4%)	放火 5 (13.9%)	その他 10 (27.9%)
5年	32	こんろ 5 (15.6%)	たばこ 5 (15.6%)	配線器具 5 (15.6%)	放 火 3 (9.4%)	その他 14 (43.8%)
6年	69	放火 17 (24.6%)	配線器具 10 (14.5%)	電気機器 9 (13.0%)	電話・電灯等の配線 6 (8.7%)	その他 27 (39.2%)
7年	47	配線器具 10 (21.3%)	たばこ 8 (17.0%)	放火 5 (10.6%)	電気機器 5 (10.6%)	その他 19 (40.5%)

※ 比率(%)は、当署管内の火災件数に対する割合(%)を示し、その他欄で、100%に調整しています。

※ 平成30年から電気が電気機器、電気装置、電話・電灯等の配線、配線器具に細分化されています。

5 年間の地区・町丁名別火災発生状況

区分 地区別	町・丁名	令和3年	令和4年	令和5年	令和6年	令和7年
南河原地 区	大 宮 町	2	3	—	6	—
	幸 町 1 丁 目	—	—	—	—	—
	幸 町 2 丁 目	—	—	—	—	—
	幸 町 3 丁 目	—	2	—	1	1
	幸 町 4 丁 目	—	—	—	—	—
	中 幸 町 1 丁 目	—	—	—	—	—
	中 幸 町 2 丁 目	—	—	2	1	—
	中 幸 町 3 丁 目	—	—	—	1	—
	中 幸 町 4 丁 目	—	—	—	—	1
	堀 川 町	11	11	3	13	15
	南 幸 町 1 丁 目	—	—	—	1	—
	南 幸 町 2 丁 目	—	2	—	1	1
	南 幸 町 3 丁 目	—	—	4	1	2
	都 町	1	—	—	3	—
	柳 町	1	—	—	—	—
	小 計	15	18	9	28	20
御幸東 地区	遠 藤 町	—	—	—	—	—
	河 原 町	—	1	1	9	2
	小 向	1	—	—	—	—
	小 向 町	1	—	—	—	1
	小 向 仲 野 町	3	—	—	—	—
	小 向 西 町 1 丁 目	1	—	—	—	—
	小 向 西 町 2 丁 目	—	—	—	—	—
	小 向 西 町 3 丁 目	—	—	—	—	—
	小 向 西 町 4 丁 目	—	—	—	—	—
	紺 屋 町	—	—	—	—	—
	神 明 町 1 丁 目	—	1	—	3	—
	神 明 町 2 丁 目	—	—	—	1	1
	戸 手 1 丁 目	—	—	—	—	—
	戸 手 2 丁 目	—	—	—	—	—
	戸 手 3 丁 目	—	—	—	—	1
	戸 手 4 丁 目	—	1	1	—	—
	戸 手 本 町 1 丁 目	1	—	—	—	—
	戸 手 本 町 2 丁 目	—	1	1	—	—
	小 向 東 芝 町	1	—	—	—	1
	小 計	8	4	3	13	6

区分 地区別	町・丁名	令和3年	令和4年	令和5年	令和6年	令和7年
御幸西地区	下平間	—	2	2	2	2
	塚越1丁目	—	—	—	—	—
	塚越2丁目	—	—	—	2	—
	塚越3丁目	—	—	—	—	—
	塚越4丁目	—	1	—	1	—
	東古市場	—	—	1	3	—
	古市場	1	1	—	1	—
	古市場1丁目	1	—	—	1	—
	古市場2丁目	—	—	1	1	—
	古川町	1	2	—	—	1
	新塚越	—	—	—	—	—
	小計	3	6	4	11	3
日吉地区	小倉1丁目	—	—	1	—	1
	小倉2丁目	—	—	2	1	1
	小倉3丁目	—	—	1	—	1
	小倉4丁目	1	—	—	1	1
	小倉5丁目	—	1	2	—	—
	小倉	—	—	—	1	1
	鹿島田1丁目	4	—	5	3	3
	鹿島田2丁目	—	—	1	1	—
	鹿島田3丁目	—	—	—	3	4
	鹿島田	—	—	—	—	—
	北加瀬1丁目	—	1	1	1	1
	北加瀬2丁目	1	1	—	1	—
	北加瀬3丁目	—	1	—	1	—
	新小倉	—	—	—	—	—
	新川崎	—	1	—	—	—
	南加瀬1丁目	2	—	—	1	2
	南加瀬2丁目	1	—	—	—	—
	南加瀬3丁目	—	2	—	—	—
	南加瀬4丁目	2	1	—	—	2
	南加瀬5丁目	—	—	1	2	1
	東小倉	—	—	2	—	—
	矢上	—	—	—	1	—
	小計	11	8	16	17	18
合計		37	36	32	69	47

救 急 概 況

川崎市内救急隊31隊(中原デイトタイム、高津デイトタイム含む)のうち、当署は4隊(幸救急隊、南河原救急隊、平間救急隊、加瀬救急隊)が配置されています。

令和7年中の川崎市内救急件数は、91,157件で令和6年に比べ2,043件(2.3%)増加し、1日平均の救急件数は約249.7件で約5分46秒に1件の割合で出場したことになります。当署救急隊4隊の救急件数は、13,729件(335件、2.5%増)で当市8消防署のうち2番目に多い件数となりました。

川崎市内救急出場件数は5年連続で増加しており、令和7年は最も救急件数の多い年となりました。

川崎市のホームページで「川崎市救急受診ガイド」を提供しておりますので、救急車の適正な利用をする際の判断材料として御利用ください。

救 急 隊 別 救 急 取 扱 状 況

(令和7年中)

区 分	幸消防署										全 市	
	幸救急隊		南河原救急隊		平間救急隊		加瀬救急隊		合 計		出場 件数	搬送 人員
	出場 件数	搬送 人員	出場 件数	搬送 人員	出場 件数	搬送 人員	出場 件数	搬送 人員	出場 件数	搬送 人員		
合 計	3,553	2,914	3,636	2,849	3,468	2,775	3,072	2,614	13,729	11,152	91,157	74,148
火 災	4	1	4	3	12	2	4	0	24	6	247	48
交 通	107	94	135	102	126	104	122	106	490	406	3,802	3,195
一 般	535	437	540	461	568	475	494	425	2,137	1,798	13,996	11,838
自 損	18	15	39	26	13	10	20	11	90	62	730	512
急 病	2,511	2,113	2,396	1,894	2,505	2,041	2,206	1,941	9,618	7,989	64,014	53,281
転 院	218	216	331	328	121	120	106	105	776	769	4,212	4,179
その他	160	38	191	35	123	23	120	26	594	122	4,156	1,095

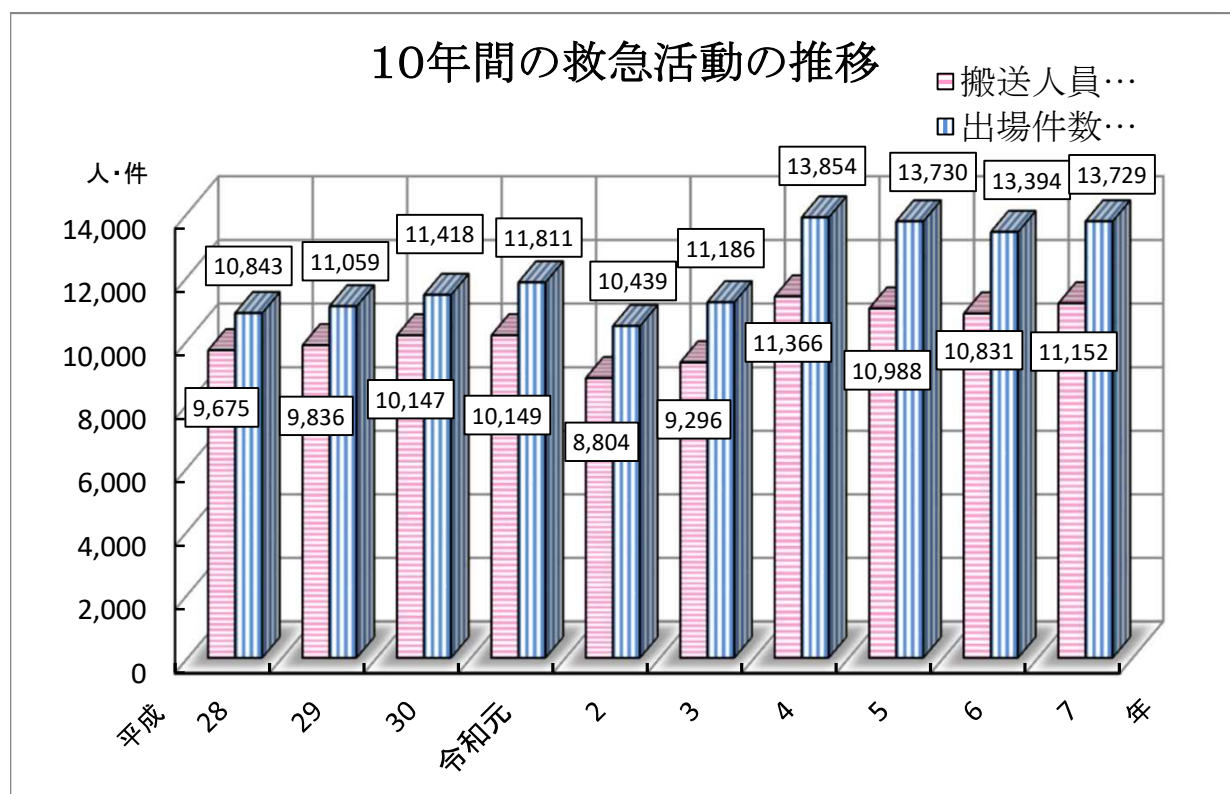
月別救急取扱状況

(令和7年中)

区 分		合 計	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
合 計	出場件数	13,729	1,223	1,060	1,133	1,014	1,018	1,144	1,285	1,213	1,120	1,101	1,171	1,247
	搬送人員	11,152	995	868	925	821	849	927	1,022	993	898	907	948	999
火 災	出場件数	24	3	1	2	2	0	4	2	2	1	4	2	1
	搬送人員	6	0	0	0	3	0	0	0	1	0	2	0	0
交 通	出場件数	490	42	33	42	45	44	36	47	44	37	47	36	37
	搬送人員	406	30	28	36	35	36	30	38	39	29	44	32	29
一 般	出場件数	2,137	186	166	181	173	182	161	154	172	177	191	186	208
	搬送人員	1,798	153	142	162	144	157	131	135	139	144	160	157	174
自 損	出場件数	90	6	8	11	7	8	10	7	9	12	3	6	3
	搬送人員	62	5	7	5	6	5	6	5	6	8	2	4	3
急 病	出場件数	9,618	856	742	771	681	697	823	943	877	775	762	820	871
	搬送人員	7,989	703	612	635	563	604	689	773	742	655	645	665	703
転 院	出場件数	776	97	68	82	64	40	61	57	59	46	51	79	72
	搬送人員	769	96	68	81	64	39	61	57	58	46	49	78	72
そ の 他	出場件数	594	33	42	44	42	47	49	75	50	72	43	42	55
	搬送人員	122	8	11	6	6	8	10	14	8	16	5	12	18

※ その他には自然災害・水難事故・労災事故・加害事故・運動競技等が含まれます。

※ 当署4隊(幸救急隊、南河原救急隊、平間救急隊、加瀬救急隊)の取扱状況です。



※ 当署4隊(幸救急隊、南河原救急隊、平間救急隊、加瀬救急隊)の救急活動の推移です。

消 防 団 の 組 織

(令和8年4月1日現在)



消 防 団 の 受 持 区 域

分 団 名	受 持 区 域
第1分団 (南幸町 3-154-2)	幸区のうち、中幸町1～4丁目、幸町1～4丁目、都町、南幸町1～3丁目、大宮町、堀川町、柳町
第2分団 (戸手 2-2-3)	幸区のうち、戸手本町1・2丁目、遠藤町、小向、小向町、小向西町1～4丁目、小向仲野町、小向東芝町、紺屋町、戸手、戸手1～4丁目、河原町、神明町1・2丁目
第3分団 (小向西町 3-107-2)	幸区のうち、塚越、塚越1～4丁目、新塚越、下平間、古川町、古市場1・2丁目、東古市場、古市場
第4分団 (北加瀬 1-36-4)	幸区のうち、北加瀬1～3丁目、南加瀬1～5丁目、小倉、小倉1～5丁目、東小倉、新小倉、新川崎、鹿島田1～3丁目、矢上

※ ()は器具置場の住所

消 防 団 員

(令和8年4月1日現在)

区 分 分 団 別	合 計	団 長	副 団 長	分 団 長	副 分 団 長	部 長	班 長	団 員
本 団	7 (0)	1	2	4	—	—	—	— (0)
機能別団員	17 (8)	—	—	—	—	—	—	17 (8)
第1分団	19 (3)	—	—	1	2 (1)	3	4	9 (2)
第2分団	23 (5)	—	—	1	2	3	4 (1)	13 (4)
第3分団	21 (4)	—	—	1	2	2	6 (3)	10 (1)
第4分団	30 (5)	—	—	1	2	6	9 (3)	12 (2)
合 計	117 (25)	1	2	8	8 (1)	14	23 (7)	61 (17)

※ 消防団定員 183名 ※ ()内は女性団員数の内数

消 防 団 の 出 場 状 況

区 分			令和3年	令和4年	令和5年	令和6年	令和7年
合 計	件数		—	141	176	233	179
	人員		—	1,273	1,749	1,615	1,441
	台数		—	120	133	137	118
災 害	火 災	件数	14	11	23	28	20
		人員	161	114	289	298	182
		台数	13	11	29	32	19
	風 水 害	件数	—	1	—	—	—
		人員	—	4	—	—	—
		台数	—	0	—	—	—
災 害 以 外	訓 練	件数	—	47	27	45	24
		人員	—	722	590	327	535
		台数	—	51	34	8	29
	自 主 防	件数	—	4	6	7	10
		人員	—	38	57	47	81
		台数	—	4	4	5	6
	広 報	件数	—	7	25	52	31
		人員	—	30	120	315	128
		台数	—	0	6	42	13
	点 検	件数	—	53	48	52	43
		人員	—	233	366	315	163
		台数	—	46	51	42	43
	そ の 他	件数	—	18	47	49	51
		人員	—	132	327	313	352
		台数	—	8	9	8	8

※災害以外については、令和4年から区分を変更しました。

消防団車両積載小型動力ポンプ

(令和8年4月1日現在)

分団別 区 分	本団 (本署)	第1分団	第2分団	第3分団	第4分団
製造会社	マキタ沼津	シバウラ 防災製作所	シバウラ 防災製作所	マキタ沼津	シバウラ 防災製作所
年 式	平成25年	令和2年	令和6年	平成25年	令和6年
ポンプ型式	P-456	P-556B	P-456	P-456	P-456
ポンプ級別	B-3	B-3	B-3	B-3	B-3
馬力 (PS)	40	32	32	32	32
放水量(ℓ)	1,260以上	1,260以上	1,260以上	1,260以上	1,260以上
配置年月	平成25年2月	令和2年11月	令和6年2月	平成25年1月	令和6年2月

消防団配置対震ポンプ

(令和8年4月1日現在)

分団別 区 分	ポンプ番号	配置場所	配置年月	備考
第1分団	対震用小型ポンプ°1号	南河原出張所	平成25年2月	水冷
	対震用小型ポンプ°18号	〃	〃	〃
第2分団	対震用小型ポンプ°32号	第2分団器具置場	〃	〃
第3分団	対震用小型ポンプ°3号	平間出張所	平成25年12月	〃
	対震用小型ポンプ°26号	〃	〃	〃
	対震用小型ポンプ°27号	〃	〃	〃
	対震用小型ポンプ°33号	〃	〃	〃
第4分団	対震用小型ポンプ°4号	第4分団器具置場	平成25年2月	〃
	対震用小型ポンプ°48号	加瀬出張所	平成25年12月	〃
	対震用小型ポンプ°49号	〃	〃	〃

消防協力団体の状況

(令和8年4月1日現在)

団体名	代表名	人数
幸防火協会	会長 池田 満	145
幸消防研究会	会長 戸野谷 純一 (株式会社東芝小向事業所 事業所長)	35
幸地区少年消防クラブ	委員長 鵜澤 正司	10(運営委員) 25(クラブ員)

自衛消防隊状況

(令和8年4月1日現在)

種別 \ 署所別	本署	南河原	平間	加瀬	合計
自衛消防隊保有事業所	4	5	3	—	12
自衛消防隊員数	495	1,084	226	—	1,805
消防ポンプ車台数	1	—	—	—	1
小型動力ポンプ台数	3	—	—	—	3
大型消火器数	78	49	61	—	188

過 去 の 主 な 災 害

S33.10	中幸町4丁目の製菓会社火災で、木造2階建て、一部平屋建の工場6棟を全焼し、22,491,000円の損害、死者9名を生じた。
S47.3.3	南加瀬の倉庫火災で、215㎡を焼損し、46,489,000円の損害を生じた。
S49.4.3	小倉の店舗併用住宅火災で、26㎡を焼損し、死者2名を生じた。
S50.8.30	小倉の作業所で、968㎡を焼損した。
S51.2.19	塚越4丁目の共同住宅火災で、寝具を焼損し、死者1名・負傷者1名を生じた。
S51.11.13	幸町2丁目の住宅火災で、52㎡を焼損し、死者1名を生じた。
S53.2.28	21時26分頃、管内に旋風被害が発生した。 1 発生場所 (1)戸手4丁目910番地付近 (2)河原町団地1・2号館 (3)中幸町1・2丁目幸町小学校付近 (4)南幸町1・2丁目地域 2 被害状況 (1)建物 57棟 (2)車両 16台 (3)電柱電線被害多数 (4)負傷者 4名
S55.1.9	古市場2丁目の店舗併用共同住宅火災で、108㎡を焼損し、死者1名・負傷者3名を生じた。
S56.2.6	下平間の住宅火災で、77㎡を焼損し、死者1名・負傷者3名を生じた。
S56.3.14	北加瀬の工場火災で、火元棟487㎡を全焼し、全焼3棟・部分焼3棟の類焼を生じ、死者7名・負傷者3名を生じた。
S56.7.8	鹿島田の工場火災で、246㎡を焼損し、死者3名・負傷者3名を生じた。
S57.12.21	小向西町2丁目の共同住宅火災で、5㎡を焼損し、死者1名を生じた。
S57.12.30	小向仲野町の共同住宅火災で、死者1名を生じた。
S58.12.8	古市場2丁目の住宅火災で、64㎡を焼損し、死者1名を生じた。
S59.3.3	紺屋町の共同住宅火災で、52㎡を焼損し、死者1名を生じた。
S59.11.26	塚越4丁目の工場で、水素化ゲルマニウムの爆発火災が発生し、負傷者2名を生じた。
S60.9.16	南加瀬の共同住宅火災で、116㎡を焼損し、死者1名を生じた。
S61.3.25	小倉の共同住宅火災で、32㎡を焼損し、死者1名を生じた。
S61.12.12	河原町の高層共同住宅火災で、1室39㎡を焼損し、死者1名・負傷者1名を生じた。

S62.3.19	河原町の屋外の火災で、死者1名を生じた。
S62.3.21	南加瀬のプラスチック製品製造会社火災で、火元棟637㎡を全焼し、部分焼3棟の類焼を生じた。
H1.2.6	古市場1丁目の長屋住宅火災で、全焼2棟・部分焼1棟の計81㎡を焼損し、死者1名を生じた。
H1.3.13	小倉の遊技場火災で、1棟677㎡を焼損し、90,855,000円の損害を生じた。
H1.7.4	塚越2丁目の共同住宅火災で、居室内10㎡を焼損し、死者1名・負傷者1名を生じた。
H2.3.4	戸手4丁目先多摩川堤内の火災で、枯草11㎡を焼失し、死者1名を生じた。
H2.7.30	小倉の共同住宅火災で、1棟172㎡を全焼し、死者1名を生じた。
H3.11.2	柳町の変電所火災で、死者1名・負傷者1名を生じ、この火災により幸区・川崎区・鶴見区の一部が停電し、エレベーター内閉じ込め事故が13件発生した。
H4.12.10	小倉の長屋住宅火災で、火元棟65㎡を全焼、部分焼1棟を類焼し、死者1名・負傷者2名を生じた。
H4.12.21	古市場2丁目の共同住宅火災で、居室内1㎡を焼損し、死者1名を生じた。
H5.3.19	古市場の一般住宅火災で、1棟95㎡を全焼し、死者1名を生じた。
H5.4.29	大宮町の共同住宅火災で、火元棟116㎡を全焼、部分焼4棟を類焼し、死者1名・負傷者1名を生じた。
H6.4.19	南加瀬3丁目の一般住宅火災で、火元棟を半焼、ぼや1棟を類焼し、死者1名を生じた。
H6.4.29	東古市場の一般住宅敷地内の物置火災で、物置1棟5㎡を焼損し、死者1名を生じた。
H6.6.20	小向西町4丁目の共同住宅火災で、火元棟111㎡を全焼、部分焼2棟・ぼや1棟を類焼し、死者1名を生じた。
H7.1.16	古川町の住宅火災で、居室内5㎡を焼損し、死者1名を生じた。
H7.2.14	中幸町の給油取扱所で、ガソリンが混入した灯油2,000リットルを誤販売した。
H7.2.19	北加瀬1丁目の住宅火災で、全焼5棟・半焼1棟・部分焼5棟・ぼや2棟の計407㎡を焼損し、死者1名・負傷者1名を生じた。
H7.4.11	小向仲野町先路上の車両火災で、乗用車1台を焼損し、死者1名を生じた。
H8.10.21	南幸町1丁目の住宅火災で、火元棟96㎡を全焼、部分焼1棟を類焼し、死者1名を生じた。
H9.1.4	神明町1丁目の複合用途建物火災で、部分焼1棟20㎡を焼損し、死者1名を生じた。
H9.3.27	小倉の末吉橋橋桁の火災で、死者1名を生じた。

H9.10.15	柳町の木材店火災で、全焼6棟・部分焼2棟・ぼや6棟の計733㎡が焼損した。
H10.3.9	南幸町2丁目の共同住宅火災で、全焼1棟・部分焼4棟・ぼや1棟の計280㎡を焼損し、死者3名・負傷者2名を生じた。
H11.2.3	南加瀬3丁目の共同住宅火災で、部分焼1棟17㎡を焼損し、死者1名を生じた。
H11.6.6	小倉の住宅火災で、全焼1棟・半焼1棟・部分焼2棟・ぼや2棟の計87㎡を焼損し、死者1名を生じた。
H11.8.14	多摩川河川敷内において、航空隊と救助隊との連携により、要救助者6名を救出した。
H11.11.4	古市場2丁目の住宅火災で、半焼1棟15㎡を焼損し、死者1名を生じた。
H12.1.28	都町の路上に駐車中の車両火災で、死者1名を生じた。
H13.4.2	柳町の工場において、粉塵爆発火災が発生し、粉体塗装装置が焼損した他、窓ガラス約40枚等が破損した。
H13.9.15	中幸町2丁目の共同住宅火災で、全焼1棟・部分焼1棟・ぼや3棟の計220㎡を焼損し、死者1名・負傷者1名を生じた。
H13.11.14	南加瀬5丁目の住宅火災で、火元棟92㎡を全焼、ぼや2棟を類焼し、死者1名を生じた。
H13.12.10	北加瀬3丁目の共同住宅火災で、火元棟80㎡を全焼、ぼや1棟を類焼し、死者1名を生じた。
H14.1.4	都町の住宅火災で、収容物若干を焼損し、死者1名を生じた。
H14.1.26	古市場2丁目の作業所併用住宅火災で、全焼1棟・部分焼1棟の計150㎡を焼損し、死者1名を生じた。
H14.2.26	古市場の多摩川河川敷の火災で、死者1名を生じた。
H14.7.18	小倉の住宅火災で全焼3棟・部分焼2棟の計183㎡を焼損し、死者1名・負傷者1名を生じた。
H15.1.9	河原町の高層共同住宅火災で、収容物若干を焼損し、死者1名を生じた。
H15.2.22	小向西町4丁目の店舗併用共同住宅で、全焼1棟・部分焼1棟の計130㎡が焼損し、死者1名を生じた。
H15.7.7	鹿島田の作業所併用宿舍火災で、全焼1棟・半焼1棟・ぼや1棟の計518㎡を焼損し、死者1名・負傷者3名を生じた。
H16.2.19	古市場2丁目の共同住宅火災で、全焼1棟・部分焼2棟、ぼや2棟の計122㎡を焼損し、死者1名・負傷者2名を生じた。
H16.6.7	戸手3丁目の共同住宅火災で、全焼1棟・ぼや1棟の計236㎡を焼損し、死者1名・負傷者2名を生じた。
H16.7.2	河原町の共同住宅火災で、部分焼1棟51㎡を焼損し、死者1名を生じた。

H16.9.27	塚越4丁目の共同住宅火災で、部分焼1棟55㎡を焼損し、死者2名を生じた。
H17.3.14	古市場1丁目の共同住宅火災で、半焼1棟73㎡を焼損し、死者1名・負傷者3名を生じた。
H17.7.8	小向東芝町の工場火災で、全焼1棟1,986㎡を焼損し、4,149,722,000円の損害、負傷者2名を生じた。
H17.10.4	河原町の共同住宅火災で、部分焼1棟48㎡を焼損し、死者1名を生じた。
H18.9.16	塚越3丁目の住宅火災で、全焼3棟・部分焼3棟・ぼや1棟の計176㎡を焼損し、死者1名を生じた。
H19.2.13	南加瀬2丁目の店舗併用共同住宅火災で部分焼1棟18㎡を焼損し、死者1名を生じた。
H20.2.8	南幸町3丁目の寄宿舍火災で半焼1棟91㎡を焼損し、負傷者7名を生じたが、救助隊、消防隊及びはしご隊により要救助者10名を救出した。
H20.2.18	北加瀬2丁目の住宅火災で、全焼1棟・部分焼3棟・ぼや5棟の計175㎡を焼損し、死者1名を生じた。
H20.3.14	中幸町2丁目の店舗併用住宅火災で、半焼2棟・部分焼2棟の計114㎡を焼損し、死者1名・負傷者1名を生じた。
H20.3.18	幸町2丁目の共同住宅火災で、全焼1棟・ぼや6棟の計44㎡を焼損し、死者1名を生じた。
H20.4.25	塚越3丁目の共同住宅火災で、全焼2棟・部分焼3棟・ぼや1棟の計169㎡を焼損し、死者1名を生じた。
H21.1.7	神明町2丁目の共同住宅兼寄宿舍の火災で、死者1名を生じた。
H21.4.13	下平間の共同住宅火災で、部分焼1棟15㎡を焼損し、死者1名を生じた。
H21.9.21	遠藤町の住宅火災で、全焼1棟・半焼1棟・部分焼1棟の計243㎡を焼損したが、火災現場から逃げ遅れた男性1名を救出した。
H22.1.10	古川町の住宅火災で、全焼1棟118㎡を焼損し、死者1名を生じた。
H22.9.8	小向西町3丁目の店舗火災で、部分焼1棟29㎡を焼損し、18,259,000円の損害を生じた。
H23.10.28	南加瀬3丁目の共同住宅の火災で死者1名を生じた。
H24.2.12	矢上の工事中の建物火災で、部分焼1棟150㎡を焼損し、20,000,000円の損害を生じた。
H25.10.21	塚越2丁目の共同住宅火災で、床面積6㎡を焼損し、死者1名を生じた。
H26.10.9	紺屋町の店舗併用住宅1棟全焼2棟類焼し、10,350,000円の損害を生じた。
H27.6.1	南加瀬3丁目の共同住宅兼駐車場の火災で、全焼1棟・部分焼2棟・ぼや4棟の計383㎡を焼損し、14,941,000円の損害を生じた。

H27.12.2	幸町3丁目の住宅火災で、全焼1棟22㎡を焼損し、死者1名を生じた。
H27.12.7	小向仲野町の共同住宅火災で、床面積14㎡を焼損し、死者1名を生じた。
H29.3.19	幸町1丁目の共同住宅火災で、収容物を若干焼損し、死者1名を生じた。
H30.1.16	河原町の共同住宅火災で、床面積42㎡を焼損し、死者1名を生じた。
H30.12.3	河原町の共同住宅火災で、床面積42㎡を焼損し、死者1名を生じた。
H30.12.26	大宮町の共同住宅火災で、床面積65㎡を焼損し、死者1名を生じた。
H31.1.11	南加瀬2丁目のその他火災で着衣一式焼損し、死者1名を生じた。
H31.1.31	小向町の建物火災で浴室内若干焼損し、死者1名を生じた。
R2.8.20	古市場1丁目の建物火災で専用住宅1棟全焼し、16,000,000円の損害を生じた。
R3.6.18	南加瀬4丁目の共同住宅火災で、床面積11㎡を焼損し、死者1名を生じた。
R3.7.14	北加瀬2丁目の共同住宅火災で、床面積1㎡を焼損し、死者1名を生じた。
R4.1.6	古市場のその他火災で、ごみ類約6㎡を焼損し、死者1名を生じた。
R6.1.4	河原町の共同住宅火災で、床面積48㎡を焼損し、死者1名、負傷者1名を生じた。
R6.2.12	小倉4丁目の住宅火災で、全焼1棟、半焼1棟、ぼや2棟の計144㎡を焼損し、死者1名、負傷者1名を生じた。
R6.11.10	鹿島田2丁目の住宅火災で、全焼1棟、ぼや1棟の計85㎡を焼損し、死者1名、負傷者1名を生じた。
R8.3.10	河原町の共同住宅火災で、床面積43㎡を焼損し、死者1名を生じた。

(掲載の基準)

- ・ 死者の生じた火災
- ・ 焼損面積が500㎡以上の火災
- ・ 昭和33年の時点における損害額が10,000,000円以上の火災(昭和34年以後の損害額の基準は、火災報告取扱要領の木造建物建築費指数に基づいて比例させる。)
- ・ その他火災報告取扱要領に定める速報に該当する災害

幸 消 防 署 の あ ゆ み

S15.12.18	特設消防署規程の改正により、神奈川県川崎消防署の設置に伴い幸出張所を開設した。
S28.12	川崎消防署小向出張所を新築開設した。
S33.3	川崎消防署幸出張所を改築した。
S34.4	川崎消防署小向出張所の部隊を増強し、2個部隊を配置した。
S41.5	川崎消防署幸出張所の増改築に伴い、部隊を増強し、2個部隊を配置した。
S42.11	川崎消防署小向出張所に救急隊を配置した。
S44.5	川崎消防署小向出張所を増改築した。
S44.5	中原消防署南加瀬出張所の増改築に伴い、部隊を増強し、2個部隊を配置した。
S46.5.1	御幸消防署を新築開設し、川崎消防署から分離した。 鉄筋コンクリート造3階建て 延べ1,365㎡ 署長 小坂橋 義雄 総員 116名 消防隊等 7隊 救急隊 1隊 出張所 2出張所(幸、小向)
S46.10.1	消防署の組織機構改革により、3課(庶務課、警防第1課、第2課)8係に拡充した。
S47.2.19	御幸消防署庁舎4・5階を増築し、消防職員宿舎が完成した。 延べ面積600㎡24室
S47.4.1	政令指定都市として区制施行により、御幸消防署を幸消防署に、幸出張所が南河原出張所に、また中原消防署南加瀬出張所を幸消防署加瀬出張所に名称を変更した。これにより本署及び3出張所とした。 総員 148名 消防隊等 9隊 救急隊 1隊
S47.4.1	川崎消防団及び中原消防団が分離し、幸消防団が発足した。 団長 山田吉三郎 団員 182名 分団 4個分団(第1分団～第4分団)
S47.6.27	「幸危険物保全研究会」が発足した。
S47.6.28	「幸事業所消防協力会」が発足した。
S47.8.4	「幸防火協会」が発足した。
S49.6.1	加瀬出張所の改築に伴い、救急隊を配置し救急業務を開始した。
S49.9.1	平間出張所を新築開設し、小向出張所を備蓄倉庫とした。
S50.12.1	救急隊を3交替制勤務とした。
S51.4.1	川崎市で唯一の地震対策車(トラクターショベル積載)を本署に、また平間出張所に救急隊を配置し、救急業務を開始した。

S51.10.1	初代署長小板橋義雄が高津消防署長に転任し、2代目署長に加藤正巳が就任した。
S53.5.11	本署庁舎屋上にテレビ共同受信施設を設置した。(建築局所管)
S53.7.1	出張所長制度の実施に伴い、各出張所に出張所長(消防司令補)を配置した。
S54.8.1	2代目署長加藤正巳が警防部警防課長に転任し、3代目署長に加藤幸郎が就任した。
S55.5.1	平間救急隊を中原消防署に配置転換した。
S55.12.10	小向備蓄倉庫の望楼を撤去した。
S57.5.9	消防署発足10周年を迎え記念行事を実施した。
S58.1.1	3代目署長加藤幸郎が中原消防署長に転任し、4代目署長に村岡通正が就任した。
S58.2.27	第3分団器具置場を改築した。
S58.11.11	国際ロータリー第259地区幸クラブから予防広報資材(ラジオカセットレコーダー一式)が寄贈された。
S59.2.6	はしご車を40m級に更新した。
S59.3.17	川崎御幸ライオンズクラブから、広報及び連絡用車両として軽自動車寄贈された。
S59.6.5	川崎多摩川ライオンズクラブから、パーソナルコンピューター一式が寄贈された。
S59.7.20	「幸地区婦人消防隊委員会」が発足した。
S60.7.1	南河原、平間各出張所の消防隊を2隊から1隊に縮小した。
S61.1.13	幸地区消防出初式を、幸スポーツセンター前広場に変更し、毎年1月第2日曜日に実施することとした。
S61.4.1	4代目署長村岡通正が川崎消防署長に転任し、5代目署長に西山有二が就任した。
S61.4.8	加瀬出張所を改築した。耐火造3階建て、延べ514.5㎡
S61.8.1	水中救助隊が発足した。
S62.1.30	南河原出張所を改築した。耐火造3階建て、延べ441.1㎡
S62.4.1	地震対策車を中原消防署に配置転換した。
S62.4.1	5代目署長西山有二が勇退し、6代目署長に佐藤任が就任した。
S62.12.1	消防団発足15周年を記念して「幸消防団15年のあゆみ」を発刊した。
S63.4.18	第2分団器具置場を改築した。
H1.1.9	天皇崩御のため幸地区消防出初式を中止した。
H1.2.15	川崎市で唯一の大型電源車を本署に配置した。
H1.4.1	6代目署長佐藤任が勇退し、7代目署長に寺田昭男が就任した。
H1.4.1	局・署の組織機構改革により副署長制度を新設した。また、同改革により警防第1課に救急係を新設し、機械係の事務と統合した。
H2.4.1	幼年消防クラブ制度が発足し、「みのり幼稚園幼年消防クラブ」、「小鳩幼稚園幼年消防クラブ」が発足した。
H2.11.1	川崎市内ではじめて「幸地区少年消防クラブ」が発足した。
H3.3.6	消防庁長官から幸消防団に竿頭綬が授与された。

H3.4.1	各救急隊長に消防司令補を配置した。
H3.6.29	「梅園幼稚園幼年消防クラブ」が発足した。
H3.9.1	川崎市防災訓練及び六都県市合同防災訓練に海部首相を迎え、新鶴見操車場跡地で、盛大に挙行了した。
H4.4.1	川崎消防署から屈折はしご車(S49.9.22購入)を本署に配置転換した。
H4.5.10	幸地区消防関係団体発足20周年記念式典を四団体(消防団、防火協会、事業所消防協力会、危険物保全研究会)合同で挙行了した。
H4.7.30	神奈川県操法大会に第1分団が小型ポンプ操法の部に出場した。
H4.9.20	完全週休2日制の施行実施に伴い、救急隊を3交代制勤務から2交代制勤務とした。
H4.11.16	川崎多摩川ライオンズクラブから、人員搬送用車両として、ワゴン車が寄贈された。
H5.1.8	川崎市消防出初式が、川崎球場前広場で20年ぶりに実施され消防署と消防団が参加した。
H5.1.11	消防団発足20周年記念誌を発刊した。
H5.2.28	S56年から毎年10月に実施していた防火パレードを、春季火災予防運動と合わせて実施することとした。
H5.4.1	7代目署長寺田昭男が勇退し、8代目署長に山口喜重が就任した。
H5.6.10	「女躰神社幼稚園幼年消防クラブ」が発足した。
H5.7.1	予防・保安及び警防業務の一部電算処理を開始した。
H5.11.18	自治体消防発足45周年記念式典が東京ドームで挙行され消防署、消防団及び婦人消防隊が参加した。
H5.11.26	「消防関係団体OB会」が発足し、初代会長に佐藤昇作氏が就任した。
H5.12.7	川崎武蔵ライオンズクラブからテント及び紅白幕が寄贈された。
H6.2.10	住宅防火モデル地区として、古市場2丁目町内会を指定した。
H6.6.13	「小峰幼稚園幼年消防クラブ」が発足した。
H7.1.17	阪神・淡路大震災が発生し、救助工作車1台、救助隊員を派遣した。
H7.1.26	防火協会から煙体験ハウス一式が寄贈された。
H7.3.27	本署救急車を高規格救急車に更新した。
H7.3.28	屈折はしご車を廃車した。
H7.4.1	8代目署長山口喜重が勇退し、9代目署長に梅津昌正が就任した。また、警防第1・2課長を管理職とした。
H7.4.29	山田消防団長が消防功労により藍綬褒章を授与された。
H7.9.29	大規模救急救助訓練を幸区小倉新鶴見操車場跡地で実施した。 参加機関: 幸消防署、幸消防団、川崎消防署、中原消防署、幸病院・高圧ガス取扱会社(セントラル化学)
H7.12.25	幸防火協会から折りたたみ担架一基が住宅防火モデル地区用として寄贈された。
H7.12.25	幸防火協会からレサシアンジュニア1体が区民指導用として寄贈された。

H8.3.1	小型動力ポンプ(B・3級)1台を幸消防団本部用として更新した。
H8.3.25	幸消防団に日本消防協会から竿頭綬が授与された。
H8.3.26	幸地区少年消防クラブに消防庁長官から優良なクラブとして表彰楯が授与された。
H8.3.29	加瀬出張所救急車を高規格救急車に更新した。
H8.4.11	ひまわり交通(株)社長 村木喜雄氏から煙体験ハウス一式が寄贈された。
H8.7.1	平成8年度安全功労団体として、幸防火協会が消防庁長官から表彰された。
H8.9.1	川崎市防災訓練及び七都県市合同防災訓練に橋本首相を迎え、新鶴見操車場跡地で、盛大に挙行了した。
H8.9.19	川崎市消防団員任免条例改正に伴い、県内で初めて女性消防団員を任命した。
H9.3.7	幸防火協会から、組立式防火水槽(1基)、災害時用天幕(1張)、パンフレットスタンド(1基)が寄贈された。
H9.5.26	「川崎こまどり幼稚園幼年消防クラブ」が発足した。
H10.4.1	加瀬出張所に災害対応指令車を配置した。
H10.10.4	「幸消防ボランティアの会」が発足し、元消防局長の加藤正巳氏が委員長に就任した。また、幸市民館大ホールで発会式を挙行し、小川和久氏の特別講演を実施した。
H10.11.21	幸防火協会が日本善行会から表彰された。
H11.4.1	9代目署長梅津昌正が中原消防署長に転任し、10代目署長に吉田末男が就任した。
H12.3.28	幸地区少年消防クラブに消防庁長官から、特に優良なクラブとして表彰旗が授与された。
H12.12.25	第1分団器具置場を新築した。
H13.3.1	はしご車を40m級はしご車に更新した。
H13.4.1	10代目署長吉田末男が川崎消防署長に転任し、11代目署長に千頭和雄一が就任した。
H13.9.1	川崎市防災訓練及び七都県市合同防災訓練に小泉首相を迎え、新鶴見操車場跡地で、盛大に挙行了した。
H14.4.1	加瀬出張所配置の災害対応指令車を多摩署に配置転換した。
H14.4.1	11代目署長千頭和雄一が勇退し、12代目署長に本田義雄が就任した。
H14.7.7	幸地区消防関係団体発足30周年記念式典を4団体(消防団、防火協会、事業所消防協力会、危険物保全研究会)合同で幸市民館にて挙行了した。
H15.4.1	消防局機構改革に伴い指導係が廃止になった。各署の副署長が予防課長事務取扱を兼務することになり、あわせて各署に警防第1・2課を統括する警防統括担当主幹制度が発足した。
H16.3.13	川崎御幸ライオンズクラブから、放送設備一式が寄贈された。
H17.4.1	12代目署長本田義雄が臨港消防署長に転任し、13代目署長に原田和幸が就任した。
H17.11	小型動力ポンプ(B・3級)1台を幸消防団第2分団用として更新した。
H18.3.28	幸消防署改築に伴い、仮庁舎として旧幸保健所(戸手2-12-11)に移転した。
H19.1	非常用消防車が更新された。

H19.3.27	消防局車両と広報車の配置替えを行った。
H20.2.26	本署査察車を指揮車に変更更新した。
H20.4.1	中原消防署玉川出張所廃止に伴い平間出張所に救急隊を配置し、高規格救急車により救急業務を開始した。
H20.4.1	13代目署長原田和幸が勇退し、14代目署長に佐久間真一が就任した。
H20.4.1	各区役所機構改革に伴い、警防統括担当主幹が各区役所担当主幹併任となった。
H20.10	広報車2が更新された。
H20.12	小型動力ポンプ(B・3級)11台を幸消防団第4分団用として更新した。
H21.4.1	消防局機構改革に伴い、各署副署長の予防課長事務取扱兼務を廃止し、各署の予防課長を専任化した。
H21.4.1	各区役所機構改革に伴い、各区役所主幹併任が警防統括担当主幹から、各署副署長へと変更となった。
H21.9	査察車が更新された。
H21.10.30	消防法改正による「住宅用火災警報器」設置の普及・促進を目的として、幸消防署住宅用火災警報器設置推進連絡会が設置された。
H22.2.2	川崎多摩川ライオンズクラブから、消防用資機材として、テント、バルーン照明機、AEDトレーナー、煙体験ハウス(天幕・横幕)及びVTR一体型DVDレコーダーが寄贈された。
H22.2.26	幸消防署庁舎を改築し、新庁舎で運用を開始した。
H22.3.7	消防署・消防団主催による新庁舎竣工式を4階講堂において、また、防火協会・消防研究会主催による竣工祝賀会を、市立御幸小学校アリーナにおいて挙行了した。
H22.3.7	幸消防署新庁舎竣工を記念し、幸防火協会・幸消防研究会から姿見、ホワイトボード及び傘立てが、また、幸消防関係団体OB会から壁掛け式時計が各々寄贈された。
H22.3.13	幸消防署新庁舎竣工に伴い、仮庁舎から移転し運用を開始した。
H22.4.1	14代目署長佐久間真一が高津消防署長に転任し、15代目署長に大沼隆久が就任した。
H22.4.1	担当課長・担当係長制の導入に伴い、主幹及び主査の補職名が変更された。
H22.4.1	職員情報システムの運用による、OA処理が開始された。
H23.1.19	幸非常用救助工作車が廃車となった。
H23.2.23	加瀬救急車が高規格救急自動車に更新された。
H23.3.10	幸非常用消防ポンプ車が廃車となり、平間消防ポンプ車が更新された。
H23.4.1	15代目署長大沼隆久が勇退し、16代目署長に築紫正義が就任した。
H24.4.1	16代目署長築紫正義が勇退し、17代目署長に細沼標旨が就任した。
H24.4.5	南河原出張所に救急隊を配置し、救急業務を開始した。
H24.10	加瀬消防ポンプ車が更新された。
H24.10	広報車1を更新した。
H25.1	小型動力ポンプ(B・3級)1台を幸消防団第3分団用として更新した。

H25.2.1	小型動力ポンプ(B・3級)1台を幸消防団本部用として更新した。
H25.2	本署水槽付消防ポンプ自動車をCAFS付車両に更新した。
H25.2.27	総務省消防庁から無償貸与された資機材搬送車(幸水難救助)が、本署に配置された。
H25.4.1	17代目署長細沼標旨が勇退し、18代目署長に服部直希が就任した。
H25.4.1	初代団長山田吉三郎が勇退し、2代目団長に新井和久が就任した。
H25.4.1	本署配置の化学消防車を平間出張所へ配置転換した。
H26.3.19	消防救急デジタル無線の仮運用が開始された。
H26.4.1	18代目署長服部直希が勇退し、19代目署長に村上公憲が就任した。
H26.5.1	3代目団長に高橋克明が就任した。
H26.7	加弘ハウジングから、救急資機材、ワンタッチテント、煙体験ハウス及び移動型放送設備が寄贈された。
H27.2	本署消防ポンプ車が更新された。
H27.3	非常用救急車が更新された。
H27.3	平間化学車が更新された。
H27.4.1	消防デジタル無線の運用が開始された。
H27.4.1	消防署における組織の一部改正に伴い、現行の救急係が廃止され警防各課に救急係長が、また予防課に施設装備担当係長が配置された。
H28.2	南河原消防ポンプ車が更新された。
H28.3	本署救急車が更新された。
H28.4.1	19代目署長村上公憲が勇退し、20代目署長に高橋俊勝が就任した。
H29.3	加瀬救急車が更新された。
H30.1	平間救急車が更新された。
H30.4.1	20代目署長高橋俊勝が予防部長に転任し、21代目署長に田中信一が就任した。
H31.1.17	南河原救急車が更新された。
H31.3.15	電源車が更新された。
R1.8.26	救助工作車が更新された。
R1.9.13	指揮車が更新された。
R1.9.20	元幸消防団庶務部長塩澤秀夫氏から広報用として、懸垂幕3枚及び横断幕2枚が寄贈された。
R2.3	「幸地区婦人消防隊委員会」が解散した。
R2.3.4	ポンプ積載車が更新された。
R2.4.1	21代目署長田中信一が勇退し、22代目署長に望月廣太郎が就任した。
R2.4.1	消防署における組織の一部改正に伴い、現行の予防課施設装備担当係長が廃止され、予防課消防団担当係長が配置された。

R2.7.1	総務省消防庁から無償貸与された高機能ボートが本署に配置された。
R2.11	小型動力ポンプ(B・3級)1台を幸消防団第1分団用として更新した。
R3.1.28	「幸消防ボランティアの会」が解散した。
R3.3.17	40m級はしご車を40m級先端屈折はしご車に更新した。
R4.4.1	22代目署長望月廣太郎が予防部長に転任し、23代目署長に飯田康行が就任した。
R4.4.1	消防署における組織の一部改正に伴い、現行の予防課消防団担当係長が廃止され、副署長が予防課担当課長[消防団]兼務となり、予防課消防団・防災支援係が新設された。
R4.11.5	幸消防関係団体創立50周年記念式典を3団体(消防団、防火協会、消防研究会)合同で幸市民館にて挙行了した。
R4.11	本署救急車が更新された。
R5.1	査察車が更新された。
R5.2	広報車1が更新された。
R5.11	加瀬救急車が更新された。
R6.2	平間救急車が更新された。
R6.4.1	23代目署長飯田康行が宮前消防署長に転任し、24代目署長に永岡敦司が就任した。
R7.1	幸地区消防出初式の会場を河原町グラウンド(河原町1-37)から御幸小学校(遠藤町1)に変更し開催した。
R7.2	平間消防ポンプ車が更新された。 南河原救急車が更新された。
R7.4.1	3代目団長の高橋克明が勇退し、4代目団長に蒲田賢が就任した。
R7.12	加瀬消防ポンプ車が更新された
R8.4.1	24代目署長永岡敦司が宮前消防署長に転任し、25代目署長に中川毅史が就任した。

川崎市幸消防署

川崎市幸区戸手2-12-1

044-511-0119

(令和8年7月発行)

